

特殊詐欺被害防止と防犯ボランティア活動に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
警察本部生活安全企画課	2020年10月30日から 2020年11月12日まで	952	598	62%

今回は、警察本部生活安全企画課からのアンケートです。

はじめに、Q1～Q7の7問では、特殊詐欺被害防止についてお聞きします。

特殊詐欺に対する意識や、自ら実施している対策等について調査を行い、特殊詐欺被害防止対策を進めていくための資料として活用するため、アンケートを実施します。

つぎに、Q8～Q15の8問では、防犯ボランティア活動についてお聞きします。

防犯ボランティア活動に対する県民の意識調査を行い、活動従事者の拡大や活動の活性化方策を探るため、アンケートを実施します。

■ Q1 特殊詐欺について

はじめに、特殊詐欺についてお聞きします。

現在、様々な手口の特殊詐欺が現れています。あなたが知っているものを、この中からすべて選んでください。

合計	598	
オレオレ詐欺（親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取るもの。）	589	98.5%
預貯金詐欺（親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るもの。）	517	86.5%
架空料金請求詐欺（未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取るもの。）	558	93.3%
還付金詐欺（税金還付等に必要手続きを装って被害者にATMを操作させ、犯人の指定した口座へ送金させるもの。）	532	89.0%
融資保証金詐欺（実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた者に対し、保証金等の名目で金銭等をだまし取るもの。）	170	28.4%
金融商品詐欺（架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関するうその情報を提供し、購入すれ	319	53.3%

ば利益が得られるものと信用させ、その購入名目等で金銭等をだまし取るもの。)		
ギャンブル詐欺（不特定多数の者が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載し、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して会員登録料や情報料等の名目で金銭等をだまし取るもの。)	105	17.6%
交際あっせん詐欺（不特定多数の者が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載し、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して会員登録料金や保証金等の名目で金銭等をだまし取るもの。)	163	27.3%
キャッシュカード詐欺盗（警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどし、キャッシュカードを盗むもの。)	414	69.2%
いずれも知らない	2	0.3%

■ Q2 被害防止対策について

あなたが、この中にある被害防止対策で行っているものはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
在宅時でも留守番電話の設定をする	224	37.5%
発信番号通知（ナンバーディスプレイ）機能を活用する	298	49.8%
非通知の電話には出ない	409	68.4%
防犯機能（通話前に警告メッセージが流れ、通話内容を録音する機能や迷惑電話をブロックする機能）を備えた電話用機器を使用する	55	9.2%
自宅の電話番号を電話帳（ハローページ）から削除する	210	35.1%
家族間で合言葉や約束事を決める	44	7.4%
警察や行政からの防犯情報配信のメール等を登録する	83	13.9%
被害防止デザインのステッカー・シール等を電話の前に貼る	15	2.5%
何も行っていない	63	10.5%
その他	12	2.0%

■ Q3 被害防止対策を行っていない理由について

Q2で「何も行っていない」と答えた方にお伺いします。あなたが、被害防止対策を行っていなかった理由は、何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	63	
電話機に留守番電話などの機能がない	18	28.6%
防犯機能を備えた電話用機器のことをよく知らない	18	28.6%
どのような対策が有効かわからない	19	30.2%
詐欺の電話がかかってくる可能性が低いと思う	19	30.2%
そこまでする必要性を感じない	19	30.2%
対策にお金をかけるのがもったいない	2	3.2%
その他	7	11.1%

■ Q4 特殊詐欺などの経験について

あなたは、過去1年間に、特殊詐欺の電話や強引な販売の電話を受けたことがありますか。あれば、どれくらいの頻度で受けたことがありますか。

合計	598	
週3回以上	3	0.5%
週1～2回程度	6	1.0%
月に2～3回程度	21	3.5%
月1回以下	101	16.9%
ほとんど受けたことがない	467	78.1%

■ Q5 連絡や通信方法について

あなたは、ふだんどのような方法で連絡や通信をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
固定電話で電話する	189	31.6%
携帯電話（スマートフォン含む）で電話する	557	93.1%
携帯電話（スマートフォン含む）でメール（ショートメール含む）する	470	78.6%
携帯電話（スマートフォン含む）でインターネットを使う	379	63.4%

パソコン（タブレット端末含む）でメールする	248	41.5%
パソコン（タブレット端末含む）でインターネットを使う	271	45.3%
その他	6	1.0%

■ Q6 固定電話について 1

特殊詐欺の被害の多くは、犯人から固定電話への電話で始まります。あなたは、現在のお住まいに固定電話を設置していますか。

合計	598	
設置している	466	77.9%
設置していない	132	22.1%

■ Q7 固定電話について 2

Q6で「設置している」と答えた方にお伺いします。あなたは、固定電話の防犯対策として、留守番電話の設定はどのようにしていますか。

合計	466	
在宅時でも防犯対策のため留守番電話に設定している	239	51.3%
留守番電話は、居留守を使っていると思われるため在宅時は設定していない	109	23.4%
自宅の電話には、留守番電話機能等はない	61	13.1%
その他	57	12.2%

■ Q8 防犯ボランティア活動について 1

ここからは、防犯ボランティア活動（子どもの見守り活動、防犯パトロール活動等）についてお聞きします。あなたは、防犯ボランティア活動に参加したことはありますか。

合計	598	
ある（現在も活動中である）	89	14.9%
ない（防犯ボランティアについてよく知らない）	509	85.1%

■ Q9 防犯ボランティア活動について 2

Q8で、「ない」と回答された方にお聞きします。あなたは、どのようなきっかけがあれば、防犯ボランティア活動に参加してみようと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	509	
仲の良い知人から誘われれば参加する	124	24.4%
活動の機会や関連情報を豊富に提供してもらえれば参加する	130	25.5%
感謝されているという気持ちが伝わってくるならば参加する	14	2.8%
自分が活動できそうだという内容であれば参加する	321	63.1%
参加したいと思わない	91	17.9%
その他	20	3.9%

■ Q10 防犯ボランティア活動について 3

あなたにとって、防犯ボランティア活動にはどのような方々が参加しているという印象がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
高齢者	343	57.4%
自治会、町内会など地元の有志	519	86.8%
商店街の店主など	112	18.7%
P T A、子供会に加入する保護者	338	56.5%
高校生や大学生などの学生	22	3.7%
その他	15	2.5%

■ Q11 防犯ボランティア活動の理念について

防犯ボランティアの活動理念は、「自分たちの地域は自分たちで守る」というものですが、あなたは、この考え方についてどう思われますか。

合計	598	
深く同意できる	177	29.6%
どちらかと言えば同意できる	332	55.5%
どちらとも言えない	74	12.4%
どちらかと言えば同意できない	15	2.5%
全く同意できない	0	0.0%

■ Q12 防犯ボランティア活動の役割について

あなたは、防犯ボランティア団体に対して行政が果たすべき役割は何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
活動資金の助成	341	57.0%
活動用物品等の支援	332	55.5%
活動方法の指導	343	57.4%
犯罪の発生状況や防犯情報の提供	408	68.2%
保険制度を充実させるなど、安心して活動できる環境づくり	280	46.8%
その他	17	2.8%

■ Q13 防犯ボランティア活動への取組について

あなたは、企業が社会や地域に貢献すること（CSR活動）を目的として防犯ボランティア活動に取り組むことについて、どう思いますか。

合計	598	
よいことだと思う	561	93.8%
必要ないと思う	26	4.3%
その他	11	1.8%

■ Q14 防犯ボランティアに対する期待について

あなたが、防犯ボランティアに期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
犯罪や交通事故などを減らすこと	412	68.9%
地域に安心感を与えてくれること	484	80.9%
仲間意識が醸成され、地域の絆が深まること	204	34.1%
地域全体の印象がよくなること	236	39.5%
特に期待していない	21	3.5%
その他	8	1.3%

■ Q15 防犯ボランティア団体について

あなたは、防犯ボランティアの団体数、参加者数を増やすためにはどうしたらよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	598	
事前に具体的な活動計画を示す	315	52.7%

活動を強制するのではなく、参加者の裁量に委ねる	265	44.3%
金銭的負担がかからないようにする	348	58.2%
楽しみややりがいの感じられる活動内容を考える	364	60.9%
その他	22	3.7%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture